



夢咲き

学校長通信 (学校長発行)
2024年度5月号 (No. 2)
宮古島市立平良中学校

第2回「校長講話」「協働力」から「ONE TEAM」へ

今から5年前の「2019年の9月」に日本で初めてラグビーの「ワールドカップ」が行われました。その大会においては、日本の代表チームは、強豪国スコットランドを打ち破る等、日本中が大いに盛り上がりました。その代表チームがチームスピリットとしていたのが「ワンチーム」という言葉です。その年の流行語大賞に選ばれたり、大変話題になりました。そして当時、代表チームを率いたのが主将のリーチ・マイケル選手です。2019年の世界選手権に向けて、チームのテーマに掲げた言葉こそ「ワンチーム」でしたが、世界の国々の代表チームに比べれば、これまでの日本代表チームはレベルの低い位置にいました。レベルアップのためには、これまで以上に選手一人一人がまとまり、協働力をもつことが必要であるとマイケル選手は考えていました。そして、選手達は、自分達で考え、判断し、協働力を発揮しながら、ワールドカップに向けて、世界一過酷といわれる練習を乗り越えてきました。ワールドカップの試合中においても、協働力を発揮したプレーで、日本のラグビー史上に残るベスト8という快挙を成し遂げることができました。

協働力からワンチームへ、このワールドカップでの快挙は、体格では外国勢に劣る日本のチームが勝つためには、やはりチーム力が大切であることを、スポーツ界だけでなく、会社や学校、社会全体にチームとなることの大切さを再確認させてくれました。皆さんが、学級・生徒会・部活動で「協働力」を発揮し「ワンチーム」になるために大切な3つのポイントをお伝えします。

1つめは、チームとして目指すゴール「目標」を設定することです。目標を設定する際に大切なことは、チーム(学級)として、どのようなチーム(学級)でありたいか、理想をもち、その理想に向けて目指すゴールを設定し、チーム一丸となって、そのゴールを目指すことです。

2つめは、チーム内で一人一人が役割を分担することです。メンバーの強みを生かして役割が決まったら、メンバー一人一人が役割にしっかりと責任を果たすことも、当然ワンチームとなるためには重要なことです。

3つめは、良好なコミュニケーションです。一人一人の「やりたいこと」「やるべきこと」「できること」について、相互に聞きあったり、意見し合ったり、足りなければ補足しあったりして、みんなでよりよいものを見つけていくことが大切です。以上の3つが、ワンチームになるための3つの大切なポイントです。皆さんも、ぜひ学級・生徒会・部活動で実践し「ONE TEAM (ワンチーム)」になることを目指してください。【第2回校長講話より】

2019年9月
ラグビー「ワールドカップ」(日本開催)



ワンチーム(2019流行語大賞)

5月2日「新入生歓迎球技大会」



「協働力」から「ワンチーム」へ

令和6年度『部活動結成集会』

5月10日 部活動結成集会が多くの保護者の皆様をお迎えして行われました。部活動担当からは、本校部活動の方針や「地域部活動の日」についての説明があり、**女子バレーボール主将の和田風紗さん**からは、「今日の部活動結成集会で、改めて練習の取り組み方や心構えについて確認し、士気を高めていくことができた」と考えています。先生方、保護者の皆さんの支えがあるからこそ日々練習できていることを忘れず、感謝の気持ちを大切にしたい。」という大変素晴らしい生徒代表挨拶が述べられました。全体の集会の後では、各部活動毎に会を開催し、顧問や各部員からの自己紹介や各部の活動について確認がなされました。



魅力ある学校づくりに向けて



各種スローガン設置

部活動巡り(先生チームの相談)

平良中学校では、「魅力ある学校づくり」として、すべての生徒が学校に来ることが「楽しい」と感じ、希望をもって積極的に登校したいと思えるような学校生活を保障していくことを目指しています。そのためには、私たち教職員が、生徒と共に学んだり活動する具体的な取組を実践し、その中で生徒一人一人を勇気づけ、激励していくことが大前提です。まずは、生徒にとって「魅力ある学校づくり」を「チームTAIRA」で目指していきます



平良中キャラクター

☆部活動「地域移行の日」の実施について☆

国のスポーツ庁・文化庁の方針を受け、本年度より、宮古島市でも外部指導者や保護者会等で部活動の指導・管理を行う「地域部活動の日」を実施しています。(毎月第1土曜日または日曜日)